

2017年 1月 25日

株式会社 三井住友銀行
SMBC日興証券株式会社

日本におけるパークレイズ・バンク・PLCとの富裕層向け業務協働の変更について

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅、以下「三井住友銀行」）とSMBC日興証券株式会社（社長：清水 喜彦、以下「SMBC日興」）は、パークレイズ・バンク・PLC（以下「パークレイズ」）との富裕層向け業務協働について、2017年4月より、提案力強化に向けたスキームの見直しを行うことといたしました。

三井住友銀行・SMBC日興・パークレイズの3社は、2010年7月より、SMBC日興のSMBCパークレイズ部において、日本国内における富裕層向けの資産運用ビジネス（以下「JV」）を協働で運営してまいりました。その結果、JVは、お客さまから高い評価をいただき、三井住友銀行・SMBC日興の富裕層ビジネスにとって無くてはならないビジネスに成長いたしました。

このビジネスを更に強化・拡大するため、三井住友銀行・SMBC日興は、パークレイズとの協議の結果、2017年4月より、三井住友銀行とSMBC日興が事業の運営を行い、パークレイズが商品・サービスの供給に特化するスキームに変更することといたしました。

三井住友フィナンシャルグループ（以下「SMFG」）では、個人向け資産運用ビジネスを最注力分野の一つとして位置付けており、特に富裕層向けの資産運用ビジネスに関しては、SMBC日興を主たるビークルとして強化し、銀証一体運営の強化を進めてまいります。本件は、その一環として、SMBCパークレイズ部（2017年4月に名称変更予定）を、特別感のあるサービスを提供する、大口富裕層向けの中核部隊の1つとして位置付け、三井住友銀行とSMBC日興が業務へのコミットを強めることでビジネスの強化を図るために実施するものです。

この変更により、これまでお客さまに提供してまいりました商品・サービスに加え、SMBC日興の商品・サービスの活用やSMFG内各社との幅広い連携が今まで以上に可能となり、よりお客さまのニーズに即したサービスが提供できるようになります。

三井住友銀行とSMBC日興は、今後もSMFGグループの総合力を活かし、お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、付加価値の高い商品・サービスの提供に取り組んでまいります。

以 上